



# 旭中通信

練馬区立旭丘中学校

学校通信 11月号

令和2年11月2日発行



## 心に残る運動会～OVERCOME～

校長 渡邊 重幸

10月24日(土)、素晴らしい秋晴れの下、令和2年度の運動会を実施することができました。とはいえ、コロナ感染が拡大し運動会をやむなく中止にしている学校(区市)がある中、なんとしても生徒に良い思い出を残してあげたいと教職員で話し合い、感染防止を第一に考えた運動会に向け計画を進めました。一番悩んだことが3密を避けた種目の選定で



した。走るだけでは陸上競技大会になってしまいますし、かといって例年行っている3年生の大むかで、追っかけ綱引き、2年生の台風の目、大縄跳び、1年生の竹取物語(棒引き)、矢切りの渡し、どれも3密になってしまいます。そこで、あえてこのような状況を子供たちと共有し、まず、子供たちに団体種目、生徒会種目を考えてもらいました。子供たちからはたくさんのアイデアが出ました。それを体育的行事委員会の先生方を中心に選定したのが、今回の種目です。ソーシャルディスタンスをとるためには必然的に人と人との間隔をあける必要があります。道具を使って間隔をあけることとしました。

1、2年、D組合同団体種目「ラケットディスタンス」は2人がラケットでボールを挟みコーンを回ってリレー形式で行う競技です。あらかじめ、ラインを引きその上を走ることによって間隔をあけることができました。



3年団体種目「TORNADISTANCE(トルネーディスタンス)」(造語)は昨年度行った「台風の目」をバージョンアップさせ、3人の位置を固定し、リレー形式で行いました。3人の位置が固定されているので、コーンを回る時に遠心力が増し、いろいろ工夫された中での競技となりました。



生徒会種目「それ引け!くじびきレース」は全学年で引いたくじに書いてあるアイテムを使って、リレー形式で行う競技でした。引いたくじによって時間に大きな差が生まれ、3年生が勝つとは限らない工夫された競技でした。生徒会本部役員がすべて進行し、生徒会長が実況中継を行い、見ている保護者、教職員も楽しませていただきました。



3年生にとっては最後の運動会が、このように制限された中ではありましたが、スローガン「OVERCOME」の通り、コロナという困難に打ち勝とうと、一人一人が精一杯努力していました。思い出に残る、素晴らしい運動会に感動しました。生徒の皆さん、ありがとう!

子供たちの頑張る姿をご覧いただくために、朝早くからご来校いただいた保護者の皆様、ご声援ありがとうございました。また、コロナ感染防止のため観戦いただけなかった祖父母、地域の皆様にはご理解・ご協力いただき感謝申し上げます。

＜準備体操＞



＜50m走＞



＜50mハードル＞



＜麻袋走＞



＜D組レース＞



＜3年全員リレー＞



＜ラケットデュオ＞



＜TORNADISTANCE＞



＜1・2年全員リレー＞



＜それ引け！くじ引きレース 生徒会＞



＜代表リレー＞



＜命の授業＞

- 1 日時 11月19日(木)  
13:10~14:50
- 2 会場 本校 体育館
- 3 講師 小森美登里さん  
(NPO法人ジェントルハートプロジェクト 理事)
- 4 テーマ 「やさしい心が一番大切だよ」



講師紹介

平成10年、高校入学間もない一人娘の香澄さんをいじめによる自死で失う。いじめのない社会、温かい教室を目指し、平成14年ジェントルハートプログラムを立ち上げ、講演、展示会、勉強会等の活動を始め、翌年NPO法人となり活動は全国展開する。

著書「いじめのない教室をつくろう」「遺書」「いじめの中で生きるあなたへ」など

＜お知らせ＞

練馬区作品展および連合書写展はコロナ感染防止の観点から中止となりました。書写については今後校内掲示を考えております。詳しくは担当からお知らせいたします。